

# 大仙市アーカイブズ ニュースレター 第4号



大仙市マスコットキャラクター  
まるびちゃん

## アーカイブズは誰のため？ ～公文書の評価選別とアーカイブズの役割～

### ◆評価選別とは？

市役所が日々の業務で作成する公文書には「わが町にはこんな課題があるから、こんな施策を行おう」といった施策決定の過程や、「〇〇年の区画整理で、△△さんは□□番地へ移転した」といった市民の権利を証明する根拠となるものが記録されています。

公文書には、職員が利用するための保存期間が定められ、期間が過ぎると廃棄されますが、廃棄前に市の歴史を伝えるものや、市民の権利の証明として残さなければならないものを選別する作業を「評価選別」と呼び、アーカイブズが、文書ファイルを1冊ずつ確認しながら行っています。評価選別で残すべきと判断された公文書は、大仙市アーカイブズで永久的に保存されます。

評価選別結果（令和元年度）

冊数	3,388冊
保存	435冊
廃棄	2,953冊
移管割合	12.8%

### ◆大仙市の主権者は大仙市民

市民一人ひとりが、これまでの施策の内容やその効果を検証したり、自分自身の権利を確認するために、公文書を手にとって閲覧できるのがアーカイブズ（公文書館）です。

アーカイブズで保存される公文書は、将来の市民も閲覧できるように永久保存されます。このことは、市役所の説明責任は将来にも及び、公文書の作成と保存を通じて、その責任を果たさなければならないことを意味しています。

ちなみに、すべての公文書は市長の許可がないと廃棄できません。公文書は市民の財産ですので、市政を委ねられている市長にのみ廃棄権があります。

### ◆将来の主権者へ

「日々生まれる市の歴史を、将来の子ども達へ伝えるための場所を整備してほしい」という市民からの要望をきっかけに誕生したのが大仙市アーカイブズです。

資料を探す手助けとなる目録の作成や、資料を適切に保存するための環境整備を進めていきます。



閲覧室

保存されている資料は、資料目録を作成して公開され、アーカイブズ内で閲覧できます。写真や古文書などのデジタルデータや、自治体史や広報などの参考図書も閲覧できます。

閲覧数（令和元年度）

市民利用	1,072点
行政利用	304点

土地の権利確認や研究等による市民利用のほか、市役所業務にも利用されており、過去の事例の参照や、権利関係を確認するための資料となっています。

## 田宮利雄資料 ～おすすめ資料を紹介します～

故田宮利雄（たみや としお 1927～2015）は、現在の大仙市神宮寺の生まれ。国鉄に入社後は秋田鉄道管理局に配属となり、「秋田鉄道管理局史」の編さんや、機関紙・広報誌の編集に携わりました。退職後は鉄道史研究者として数々の著作を残しました。

秋田の鉄道史を伝える9, 245点の資料群を遺族からご寄贈いただきました。数々の記念切符や、職員だからこそ撮影できた国鉄の裏側的な写真、田宮自身の人柄を偲ぶことができる学生時代の日記などがあります。



記念乗車券・記念入場券のスクラップ



学生時代の日記帳



お召し列車

- ・田宮利雄資料展は休止中ですが、新型コロナウイルスの収束後、再会予定です。
- ・写真の一部をデジタル化済みです（約2,000点）。アーカイブズで閲覧できます。

## 記録を残すことの意味 ～社会の根幹を支えるものとして～

記録に残る暖冬で穏やかに春を迎える心づもりが、突如新型コロナウイルスが来襲。政府の対応や社会活動も右往左往、手探り状態ですし、経済に及ぼす影響も計り知れません。

### ■非常事態だからこそ

こうした非常事態で記憶に残るのが、東日本大震災後、政府の原子力対策本部をはじめとする組織の会議録が作られていなかったことです。「自分たちの混乱ぶりを記録として残したくなかったから。」「混乱があったのであれば、むしろその混乱ぶりを知ってもらったほうがいい。将来の参考になる」と多くの識者は述べていました。

あれから9年、記録を残すことの重要性をあらためて感じています。目に見えない恐ろしい集団感染に対応した正確な記録を、後世に生きる人々のために伝えてほしいと願うものです。それは、普遍的な社会のキーワード「安全、安心の社会の構築」の基本につながります。

### ■感染症の記録

広く伝染する病気にコレラがありますが、もともとコレラ菌でおきるインドの風土病だったものが、19世紀に世界各地に広がり、鎖国をしていた日本でも江戸時代後期に流行し、罹患すると致死率がとても高い伝染病でした。大仙市アーカイブズには、感染症研究が進んでいない明治期におけるコレラの予防対策の一端を伺える地元資料があります。

### ■未来を拓くヒントに

温暖化が原因とも言われる自然災害の連続や、科学的に発生が想定される大地震に加え今回の新型コロナウイルスも、大切な生活と命を脅かしている現実があります。そうした脅威を前に、私たちの生活はいわばむき出しの状態であり、被害を最小限にとどめるための防災や予防のためには、新しい知見と先人たちが残した記録を結びつけることも、ヒントの一つになるのではと思えてしかたがありません。



明治22年分

### 仙北郡役所達編冊

大沢郷村役場の資料です。コレラ予防のため、うがい・手洗いの励行、食事の際の心構えなど、衛生環境へ配慮するよう指示されています。

